

OKEKITA
おけきた

すいどうだより

編集・発行：桶川北本水道企業団
北本市中丸6-83 TEL.048(591)2775
ホームページ <http://water-okekita.jp/>

No.134

上下水道料金のお支払いは便利な口座振替で

給水人口 143,224 人 給水世帯 59,658 世帯
(平成27年11月1日現在)

北本総合公園

道路上の漏水はフリーダイヤル
ろーすい つーほー

0120-641-240

風邪やインフルエンザの
感染予防に

水道水でうがい手洗いを!!



平成26年度決算のあらまし

年間業務量

項目	区分	平成26年度	平成25年度	比較増減
給水世帯		59,424世帯	59,044世帯	380世帯
給水人口		143,605人	144,080人	-475人
年間配水量		16,204,077 m ³	16,390,473 m ³	-186,396 m ³
1日平均配水量		44,395 m ³	44,905 m ³	-510 m ³
年間有収水量		14,532,855 m ³	15,036,581 m ³	-503,726 m ³
有収率		89.7%	91.7%	-2.0%

主な事業概要

- ・ 建設工事は、口径75mmから300mmまでの配水管を1,368.4m、口径500mmの送水管を49.9m布設しました。
- ・ 改良工事は、石綿セメント管更新事業として口径75mmから300mmまでの配水管を2,010.4m、口径200mmの導水管を403.2m更新し、第11号取水井改修工事を実施しました。

収益的収支(税抜き)

収入 33億1,565万円
支出 28億1,890万円

みなさんにお支払いいただいた水道料金などの収入、安全にご家庭まで水をお届けするために要する費用の収支です。

収入は33億1,565万円、支出は28億1,890万円で、4億9,675万円の純利益となり、企業債償還のための積立金などへ充当しました。

資本的収支(税込み)

収入 1億9,454万円
支出 13億6,639万円

分担金などの収入、安定した水を送りつづけるために必要な施設の拡充や配水管布設工事に要する費用の収支です。

収入は1億9,454万円、支出は13億6,639万円で11億7,185万円の不足が生じ、不足額は積立金などで補てんしました。

資金不足比率を公表します

特別会計の名称	資金不足比率(%)	経営健全化基準
桶川北本水道企業団 水道事業会計	— (資金不足比率なし)	20.0%

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し経営の健全化に努めなければなりません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき水道事業会計の資金不足比率を公表します。

水道企業団では、平成26年度の資金不足比率はありませんでした。詳しくはホームページにてご覧になれます。

収益的収支

収入 (単位:千円、%)			
区分	予算額	収入額	収入率
営業収益	2,853,515	1,428,939	50.1
給水収益	2,637,814	1,359,267	51.5
受託工事収益	45,399	12,203	26.9
分担金	103,692	39,985	38.6
公共下水道負担金	64,617	17,243	26.7
その他営業収益	1,993	241	12.1
営業外収益	227,912	9,555	4.2
受取利息	1,989	1,091	54.9
他会計補助金	1,916	0	0.0
長期前受金戻	217,909	0	0.0
雑収	6,098	8,464	138.8
特別利益	18,765	0	0.0
合計	3,100,192	1,438,494	46.4

支出 (単位:千円、%)			
区分	予算額	執行額	執行率
営業費用	2,688,049	794,719	29.6
原水及び浄水費	1,219,426	541,602	44.4
配水及び給水費	327,392	122,595	37.4
受託工事費	45,695	7,139	15.6
業務費	142,358	57,170	40.2
議会費	5,833	1,498	25.7
総会費	185,498	64,715	34.9
減価償却費	720,532	0	0.0
資産減耗費用	41,315	0	0.0
営業外費用	68,509	29,087	42.5
支払利息	56,510	28,908	51.2
消費税	10,677	0	0.0
雑支	1,322	179	13.5
特別損	19,794	0	0.0
予備費	5,000	0	0.0
合計	2,781,352	823,806	29.6

平成27年度上期 財政状況

資本的収支

収入 (単位:千円、%)			
区分	予算額	収入額	収入率
関係市負担金	14,744	0	0.0
工事負担金	119,921	6,211	5.2
分担金	44,439	17,136	38.6
合計	179,104	23,347	13.0

支出 (単位:千円、%)			
区分	予算額	執行額	執行率
建設改良費	1,385,931	47,276	3.4
石綿セメント管更新事業費	539,292	6,714	1.2
配水設備費	266,841	6,916	2.6
配水管整備費	86,983	4,806	5.5
工事請負費	180,645	0	0.0
原浄水設備改良費	131,764	0	0.0
配水設備改良費	155,470	20,516	13.2
事務費	19,966	7,695	38.5
営業設備費	4,970	629	12.7
企業債償還金	317,095	157,141	49.6
合計	1,703,026	204,417	12.0

予算額には前年度繰越額含む

年末の業務は12月28日(月)までとなり、年始は1月4日(月)から業務開始となります。年末は業務が大変混雑します。水道料金のお支払い、水道の使用開始・中止のご連絡はお早めにすませましょう。なお、漏水修理などの緊急の受付は年末年始も平常どおりおこなっております。

年末年始の業務について

水道水は安全で塩素消毒による滅菌効果があります。これからの季節、風邪予防のために外から帰ったら水道水で「うがい・手洗い」をしましょう。

うがい・手洗いをしましょう

平成27年第2回定例会が8月25日(火)に開催され、次の議案が原案のとおり可決及び認定されました。

水道議会だより

指定給水装置工事事業者情報～水道工事ができます～

☆給水装置の新設、改造、修繕または撤去の水道工事は、指定給水装置工事事業者以外では施工できません。必ず水道企業団の指定給水装置工事業者に水道工事を依頼してください。

指定給水装置工事事業者(新規指定)

事業者名	代表者	所在地	電話番号
(株)荒川設備	荒川 龍二	川口市峯810-12	048-297-8999
(有)磐梯設備工業所	佐藤 義代	ふじみ野市緑ヶ丘1-6-13	049-263-4614
ダイセーExt(株)埼玉事業所	須藤 大樹	行田市持田2364-1	048-598-4353

指定給水装置工事事業者(所在地等変更)

事業者名	代表者	所在地	電話番号
(有)寿管工	佐藤 克己	桶川市南2-2-11	048-782-6638
アサヒ住建(株)	箕輪 登	上尾市平塚2558-4	048-773-8513
(有)黒澤水道設備	黒澤 孝良	秩父市小柱500-1	0494-63-2131

指定給水装置工事事業者一覧表は、桶川北本水道企業団ホームページ(<http://water-okekita.jp/>)でご覧いただけます。
トップページ>業務案内>指定給水装置工事事業者一覧表

人事行政の運営状況をお知らせします

桶川北本水道企業団人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、企業団職員の任免や給与、勤務条件などを公表するものです。なお、詳しくはホームページでご覧になれます。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

- (1)職員の採用の状況 平成 27 年度は、新規採用職員は 3 人です。
 (2)再任用の状況 平成 27 年度は、再任用短時間勤務職員は 3 人です。
 (3)職員別任用の状況 平成 27 年 4 月 1 日における課長補佐級以上の者は 16 人で、昇格者は次のとおりです。

職 位	事務局長級	次長級	課長級	課長補佐級	計
昇 格	0	0	0	1	1

(4)職員の退職の状況 平成 26 年度は退職した職員はいません。

(5)職 員 数 の 状 況 (各年度 4 月 1 日現在)

職 員 数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	42 人	40 人	40 人	39 人	42 人

2 公営企業職員の給与の状況

水道事業

(1)職員給与の状況

ア 決算

区 分	総費用 (A)	純損益又は 実質収支	職員給与費 (B)	総費用に占める 職員給与費比率 (B/A)	(参考) 25 年度の 職員給与費比率
平成 26 年度	4,115,253 千円	496,753 千円	242,421 千円	5.9%	6.4%

区 分	職員数 (A)	給 与 費				1 人当り 給与費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
平成 26 年度	39 人	149,408 千円	28,635 千円	52,944 千円	230,987 千円	5,923 千円

(注) 1 職員手当は、退職手当は含みません。 2 職員数は、平成 27 年 3 月 31 日現在の人数です。

イ 職員の平均年齢及び平均給料月額状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

平均年齢	平均給料月額
40.9 歳	335,815 円

(2)職員の級別職員数の状況

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	計
標準的な 職務内容	主事補	主事	主任	係長	課長補佐	課長	次長	事務局長	
職 員 数	5 人	11 人	4 人	6 人	10 人	4 人	1 人	1 人	42 人
構 成 比	11.9%	26.2%	9.5%	14.3%	23.8%	9.5%	2.4%	2.4%	100%

(3)職員手当の状況

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

区 分	内 容
扶養手当	配偶者 13,000 円、配偶者以外 1 人につき 6,500 円、満 16 歳～満 22 歳までの子 5,000 円加算
地域手当	給料、扶養手当及び管理職手当の合計額の 5 %
住居手当	借家等居住者 27,000 円が限度額、持家居住者 4,500 円
通勤手当	交通機関等利用者 (運賃相当額) 55,000 円が限度額、自動車等利用者 (使用距離に応じた額) 31,600 円が限度額
期末手当 勤勉手当	期末手当 年間 2.60 月分 勤勉手当 年間 1.50 月分
退職手当	埼玉県市町村総合事務組合に加入し、平成 27 年度の支給率 (最高支給限度額) 自己都合 49.59 月、定年 49.59 月

(4)特別職の報酬等の状況

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

月 額	期 末 手 当
企業長 24,800 円、副企業長 21,200 円	6 月期 1.975 月・12 月期 2.125 月 (年 4.1 月)
議長 25,000 円、副議長 24,000 円 議運委員長 23,000 円、議員 22,000 円	6 月期 1.975 月・12 月期 2.125 月 (年 4.1 月)

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間の状況 1 週間の勤務時間 38 時間 45 分

勤務時間の割り振り

始業	終業	休憩時間	週休日
8 : 30	17 : 15	60 分	土・日曜日

(2)年次有給休暇の取得状況 平成 26 年度の年次有給休暇の平均取得日数は 9.2 日となっており、平成 25 年度 (10.0 日) と比較して 0.8 日減少しています。

(3)育児休業等の取得状況 平成 26 年度に取得した職員はいませんでした。

(4)時間外勤務の状況 平成 26 年度の職員の月当たり平均時間外勤務時間は、1.6 時間 (平成 25 年度は 1.4 時間) となっています。

4 職員の分限及び懲戒処分状況

(1)分限処分の状況 平成 26 年度に分限処分を受けた職員はいません。

(2)懲戒処分の状況 平成 26 年度に懲戒処分を受けた職員はいません。

5 職員の服務の状況

(1)職務専念義務免除の状況 平成 26 年度の承認件数は厚生計画等の延べ 46 日でした。

(2)営利企業等従事の許可状況 平成 26 年度に許可を受けた職員は 1 人でした。

6 職員の研修の状況

平成 26 年度は 30 コース、延べ参加人員は 99 人でした。

7 職員の福祉及び利益保護の状況

福利厚生制度に係る企業団の負担の状況

(1)共済組合への負担金 平成 26 年度は 48,011 千円支出しました。

(2)定期健康診断の実施状況 平成 26 年度は 364 千円支出 (37 人受診) しました。

災害時に備えて ～水道企業団の取組み～

水道企業団は 8 月 23 日の北本市防災訓練、8 月 30 日の埼玉県・桶川市総合防災訓練に参加しました。これらの訓練は、防災意識の高揚や災害時における防災活動の円滑化、防災関係機関のさらなる連携強化を図ることなどを目的としています。特に埼玉県・桶川市総合防災訓練は 9 都県市合同防災訓練の埼玉県会場としておこなわれた大規模なものであり、水道企業団では給水タンク車で給水活動などをおこないました。

また、水道企業団においても定期的に防災訓練をおこなっており、今年は 5 月 14 日に震災時招集訓練、10 月 5 日に応急給水訓練を実施しました。応急給水訓練では、川田谷浄水場および加納配水場の配水池から給水タンク車への注水操作の確認をおこないました。災害時における初動体制の確立と迅速な応急給水活動の実施のため、水道企業団はこれからも防災対策に努めていきます。

埼玉県・桶川市 ▶
総合防災訓練
水道企業団
ブースにて



◀ 応急給水訓練
川田谷浄水場
にて

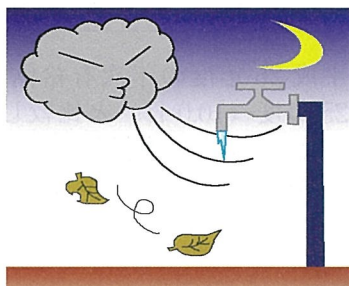
水道管の冬じたくをしましょう！



朝晩の寒さが一段と厳しい季節となりました。寒さが身にしみてきます。水道管も寒さ対策をしておかないと、水道管が凍ってしまい、いつでも使えるはずの水道が使えない場合があります。特に気温が4℃以下(風あたりの強いところでは2℃程度)になると水道管が凍結したり、破損しやすくなります。こうした事故を未然に防ぐため、水道管や水道メーターに防寒保護をしましょう。

凍結しやすい水道管

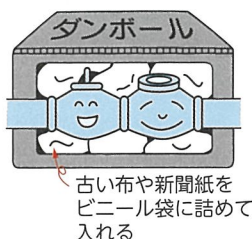
- ◎北側にあり、日のあたらないところや、風あたりの強い場所にあるもの
- ◎水道管が露出しているもの
- ◎屋外にあり、特に2階などへ配管しているもの



防寒の方法

水道管や蛇口に布や市販の保温材などを巻いて保温し、その上からビニールテープなどを巻き付けて保温材が濡れないようにします。

また、メーターボックスの中には、新聞紙や毛布などを入れ保温してください。



凍って水が出ないときは

自然にとけるのを待つか、タオルなどの布をかぶせ、その上からぬるま湯をかけてゆっくりとけるのを待ちます。

なお、熱湯をかけますと、水道管や蛇口が破裂することがありますので、ご注意ください。



破裂したときは

メーターボックス内のメーターバルブを閉めて水を止めてください。バルブが付いていない場合は破裂した部分に布かテープなどを

しっかり巻いて、応急処置をしてください。

その後、ご自宅の水道工事をした指定給水装置工事業者に直接修理を依頼してください。

水道企業団では修理はおこなっていません。

施工業者が不明な場合は、水道企業団までお問い合わせください。



●問い合わせ

業務課 業務係

048-591-4795

(業務課)



ダム本体内部での説明風景



浦山ダムにて

親子水道教室

が開催されました

すいどうだより132号で募集しました夏休み親子水道教室が8月6日(木)に開催されました。

当日は15組37名が参加し、秩父市にある「浦山ダム」の施設見学をおこないました。参加者のみなさんは担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。限りある資源「水」の大切さを親子で一緒に学んだ有意義な1日となりました。